# 材不足への対応策は

# 実習生受け入れ前向きに

軟な施策が示されている 入れなど、国・県から柔 足が大きな課題である。 海外からの研修生受け 現状と今後の施策 復興へ向けて人材不 水産業をはじめとし

ものではないが、なぜ町 受け入れを支援していく。 ないのか。福利厚生をは 民の中に働きたい人が少 同様に前向きに実習生の 制度を活用した受け入れ ており、外国人技能実習 る労働力不足は顕著化し 人数も増えている。県と その制度を否定する 被災地におけ

> じめとした支援施策の展 集しているが、応募がな

甲斐谷水産商工課長 開をしてはどうか。 工業者も賃金を上げて募 加

> 者確保の一番早い方法は いようだ。現状では労働

ば、 ければならない。 に立って解決していかな であり、中長期的な視点 ようという姿勢が必要だ。 の質問だ。まずやってみ 続を目指した施策として 問 外国人実習生だと思う。 ではなく、産業の継 単純に賃金を上げれ 非常に難しい問題

豊間根信

和

会

政

(

労働力不足が顕著になっています

えと今後の対応は。 再発防止策はもちろん

果を招いたことは委託者 混乱した状況下で被災失 されているが、震災時の である町の指導や検査が もあるが、このような結 実行だった。 先課題解決のための政策 業者の雇用創出という優 力が低下していたと指摘 調査権限の範囲の問題

#### NPO問題

#### 町の今後の対応は

### 法令順守の徹底を図

る

も適正だったとは言い難 中で、県の対応は必ずし 問 では、との指摘もあっ という発想がなかったの の低下した町を補完する た所見を発表した。その して外部有識者に依頼し めた内部検証報告書に関 い、県は法務、行政能力 県は26年3月にまと

のことであるが、町の考

町の法務、 行政能

る。 完全でなかったと考え

を明らかにしていく。町 じて問題を整理し、真相 民事・刑事の裁判を通

> 図る。 職員に法令順守の徹底を 政の秩序を正すとともに

## CT利活用への取り組みは

### 全町インフラ整備実施

問 ムの実現に向けた具体的 な取り組み内容は。 情報発信収集システ

の情報共有について検討 間根総務課長 双方向

> している。 象で実施したい。 1年間をめどに全世帯 インフラ整備は計画 対 上

#### その他の質問

- 状況は 荒川・豊間根地区の ふるさと応援寄附へ 基盤整備事業の進行 の具体的取り組みは
  - ・沿岸市町村連携で観 光振興を
  - ▼国・県道につながる 支援の現状は 被災者への生活再建